

題「風」

鴨田 昭紀 選

特
選

くじけても風がせなかをおしてくる

大竹市立小方小学校五年 村岡 馳太

【評】 人生は七転び八起き。努力をすれば必ず結果がついてくるものと信じて、決して諦めず何度も起き上がることです。

春の風みんなの心ぼつかばか

廿日市市立佐方小学校三年 伊藤 杏

【評】 如何にも春を待ち望んでいた気持ちがひしひしと伝わってくる。特に下5のぼつかばかの言い回しが面白い。

勉強で頭の中が暴風雨

廿日市市立佐方小学校六年 石丸 龍汰

【評】 学校の宿題や塾通いで忙しい毎日が目に浮かぶ見付けが面白い句。今は大変だと思うが、将来のためにも頑張ろう。

おにごっこ風をおいこしタッチする

廿日市市立地御前小学校三年 高見 駈

【評】おにごっこやかくれんぼする光景も今ではあまり見なくなつた。風を追いつくくらい外で走り回って欲しいが・・・。

大逆転風向き変わる好プレー

廿日市市立佐方小学校六年 藤滝 龍馬

【評】紆余曲折の人生に通じるものがある。カープやサンフレッツチエも是非こうあって欲しいものだ。

風にのせ平和の手紙とどけたい

廿日市市立地御前小学校四年 牧野 大輝

そよ風に思いをのせてとどけます

廿日市市立佐方小学校六年 小倉 慧夢

やって来てまた去って行く風の歌

廿日市市立地御前小学校六年 向井 優月

夏色にそまった風がほほなでる

庄原市立比和中学校一年 光元 杏香里

争いが終わったあとは重い風

大竹市立小方小学校五年 國武 知矢

うれしいと幸せの風吹いてくる

大竹市立大竹小学校五年 村上 結香

強風があせる私を責めている

大竹市立小方小学校六年 海井 明香里

冬の夜家に入れてとねだる風

広島市立中山小学校四年 古谷 柊依

ここちよいエアコンつけて本を読む

廿日市市立地御前小学校三年 原本 みのり

あのころの時の流れは風のように

大竹市立小方小学校六年 柴原 桜介

車窓開け耳で奏でる風の音

大竹市立小方小学校六年 谷 颯太

うわさはね風にのってねやってくる

大竹市立大竹小学校五年 立川 実希

天にいる母さんの声風とくる

大竹市立小方小学校六年 藤本 庸介

せんたく物風にたのしくおどってる

広島市立千田小学校四年 山田 歩夢

風がふく北風こぞうきたのかな

廿日市市立佐方小学校四年 沖 政宗

この葉まうどこかさみしい秋の風

廿日市市立地御前小学校四年 小山尚之助

風にのるぼくの気もちがまい上がる

廿日市市立地御前小学校四年 徳永 湊

そよ風も君の気持ちもさわやかだ

廿日市市立地御前小学校五年 堤 湊亮

すすきゆれ月を見ながらだんご食う

廿日市市立地御前小学校六年 南原 稜

そよ風がきみの心をおどらせる

廿日市市立地御前小学校六年 掛本 結日

春風がわくわくさせる新学期

大竹市立小方小学校六年 車屋 実咲

いじわるなかなぜにあまがさうらがえる

広島市立大町小学校一年 筒井 水宙

気持ちよいクーラーの前一人じめ
 とりたちは平和な風を知っている
 風と風どちらが先にとばせるか
 声えんが追い風になりホームラン
 春風にあたるとみんな笑顔だよ
 風がふく未来へ続く広い空
 風にのりあの子に気持ちとどくかな
 北風をまとい登校冬の朝

大竹市立大竹小学校四年	岩岡 良
廿日市市立佐方小学校二年	西本 明叶
廿日市市立佐方小学校五年	石田 理菜
廿日市市立佐方小学校五年	田村 直輝
廿日市市立佐方小学校五年	隅 柊二郎
廿日市市立佐方小学校五年	新田 航己
廿日市市立佐方小学校六年	中原 悠月
廿日市市立佐方小学校六年	堤 清葉